

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2015-161705(P2015-161705A)
 【公開日】平成27年9月7日(2015.9.7)
 【年通号数】公開・登録公報2015-056
 【出願番号】特願2014-35090(P2014-35090)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 5 1 2

G 0 3 G 21/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月29日(2016.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録材の熱を奪いながら搬送する冷却ベルトと、摺動する前記冷却ベルトの熱を吸熱する冷却部材とを備えた冷却装置において、
 前記冷却ベルトと前記冷却部材との摺動抵抗を検知する摺動抵抗検知手段を備えたことを特徴とする冷却装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の冷却装置において、
 前記摺動抵抗検知手段の検知結果に基づいて、前記冷却ベルトと、前記冷却部材の少なくとも 1 つのメンテナンス時期を判断するメンテナンス時期判断手段を備えることを特徴とする冷却装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の冷却装置において、
 前記メンテナンス時期判断手段は、前記摺動抵抗検知手段の検知結果が所定の範囲から外れたときに、前記冷却ベルトと、前記冷却部材の少なくとも 1 つのメンテナンスが必要であると判断することを特徴とする冷却装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の冷却装置において、
 前記摺動抵抗検知手段は、前記冷却ベルトを駆動する駆動源に伝達される負荷を検出する負荷検出手段を有することを特徴とする冷却装置。

【請求項 5】

請求項 2、請求項 3、又は請求項 2 を引用する態様の請求項 4 のいずれかに記載の冷却装置において、
 前記メンテナンス時期判断手段は、冷却する記録材の種類に基づいて、前記冷却ベルト及び前記冷却部材の少なくとも 1 つのメンテナンス時期を判断することを特徴とする冷却装置。

【請求項 6】

請求項 2、請求項 3、請求項 5、又は請求項 2 を引用する態様の請求項 4 のいずれかに記載の冷却装置において、

前記メンテナンス時期判断手段は、当該冷却装置を用いる装置の生産性に基づいて、前記冷却ベルト及び前記冷却部材の少なくとも１つのメンテナンス時期を判断することを特徴とする冷却装置。

【請求項 7】

記録材を冷却する冷却装置を備えた画像形成装置において、
前記冷却装置として、請求項 1 乃至 6 のいずれか一に記載の冷却装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。